

令和8年度 社会福祉法人しいの木会 事業計画

1. 法人全体事業計画

- (1) 就労継続支援B型に使用する新作業棟を建設する。
- (2) 生活介護棟に入浴設備の設置、併せて井戸水貯水設備増設、並びに当法人のグループホームに入居している生活介護サービス利用者に対して、入浴サービスを実施する。
- (3) 利用者の高齢化及び重度化に対応すべくサービスの変更を行い、それに伴い令和9年度より定員の変更を行う。

就労継続支援B型：30名→10名 生活介護：7名→30名

サービス変更については、利用者並びに利用者家族に丁寧に説明し、新作業棟完成時までに変更手続きを行う。

- (4) 現利用者の利用率向上と新規利用者の獲得のため、広報・営業活動を行う。

(5) 法令順守

- ① グループホーム「地域連携推進会議」を実施する。
- ② BCP 訓練を実施する。
- ③ 虐待防止・身体拘束適正化委員会の開催及び職員に研修を実施する。

- (6) 設備更新 ・ エアコン（エコワーク室・相談室・多目的室）

・ 電灯のLED化

- (7) 役員会等は年間計画に従って実施する。併せて法人の事業に対して適切なガバナンスを発揮する。

(8) 理事会・評議員会の予定

実施日	種別	参加者	決議事項
6月上旬	理事会	理事・監事 会計責任者	・ 評議員会提出議題（案）の承認 ・ 令和7年度事業報告および決算の承認 ・ 令和8年度第1回補正予算の承認
6月下旬	評議員会	評議員・理事 会計責任者	・ 令和7年度事業報告および決算の承認 ・ 令和8年度第1回補正予算の承認
11月下旬	理事会	理事・監事 会計責任者	・ 評議員会提出議題（案）の承認 ・ 補正予算の承認
11月下旬	評議員会	評議員・理事 会計責任者	・ 補正予算の承認
3月中旬	理事会	理事・監事 会計責任者	・ 評議員会提出議題（案）の承認 ・ 補正予算の承認 ・ 令和9年度事業計画および予算の承認
3月下旬	評議員会	評議員・理事 会計責任者	・ 補正予算の承認 ・ 令和9年度事業計画および予算の承認

2. シーモック事業計画

① 令和9年度に向けて

令和9年度に就労継続支援B型及び生活介護サービスの定員変更を実施し、新たな構成で活動するための準備として、以下のことを行う。

- ・利用者個々の状態を適切に評価し、それぞれに合った必要なサービスを提供できるように、利用者の適正配置を検討する。
- ・現在取り組んでいる活動（ピースワーク・ベジワーク・エコワーク）の他、全利用者が取り組めるような活動内容を模索し、実際に活動を試みることでサービス変更後の活動につなげる。活動時は、利用者人数に合わせ、職員を適正に配置し利用者支援を行い、活動中の事故防止に努める。

② 菓子製造・販売

製造機械を使い効率的な菓子製造をめざし、平均工賃1万円以上を維持する。販売は、学校行事、注文販売やインターネット注文等、年間を通して安定的な販売ができる体制を目指す。

③ 実習生の受け入れ

特別支援学校からの見学や実習生の受け入れを行うことで、新規利用者増を目指す。（令和7年度から実習は日中一時支援事業を利用し実施している）

（1）シーモック各部署の計画

① 就労継続B型（定員30名）

ア) スイーツワーク（菓子製造）

利用者・職員の適正配置を行い、効率的な製造方法を模索していく。

イ) ピースワーク

受注作業・製作活動（自主製品）を行う。また、屋外での活動も取り入れながら、健康面を考慮した活動を行っていく。

ウ) ベジワーク

近隣の畑での野菜栽培を行っていく。受注作業・製作活動（自主製品）の他、歩行活動など健康面を考慮した活動を取り入れていく。

② 生活介護（定員7名）

エコワーク

利用者個々のペースに合わせ、リサイクル活動や創作活動、野菜栽培、ポスティングの他、歩行活動・体操などの健康面を考慮した活動を行う。リサイクル活動やポスティング作業で得た収益、市の助成金を基に、毎月お楽しみ会を行う。

（2）相談支援事業

サービス等利用計画書の作成、モニタリング（利用者状況の把握・計画の見直し）を行う。一人一人のニーズに対し適切なサービスが受けられるよう、情報提供を行う。

(3) 日中一時支援事業

- ① 利用者の地域生活を幅広く支援する観点から、月に2回、土曜日に余暇活動を行う。(年間計画書により24回実施予定)
- ② 日常的な活動と並行して緊急利用の受け入れを行う。
- ③ 実習生の受け入れを積極的に行う。特別支援学校の現場実習の対象事業所としていく。

3. グループホーム事業計画

(1) 共同生活援助

- ① シーモック職員がグループホーム支援に関われる機会を増やすことにより、職員配置の安定化を図る。同時に、支援内容の充実を図る。
- ② 利用者が地域において主体的に生活できるよう支援していく。
- ③ ホームどんぐり・ホームたんぽぽの利用者の特性に合わせた支援（入浴）を、生活介護棟に入浴設備ができ次第、シーモックと連携し実施する。
- ④ QOLの向上を目指すとともに、利用者、家族との面談やニーズに柔軟に対応していく。

(2) 短期入所

現時点では満床の為、一時的に受け入れは中止とする。空床が出た場合は、利用者家族の緊急時の対応や体験的利用等、福祉の充実を図っていく。